

古い考え方なのかもしれませんが 『ゴミ＝無料』



皆さん、「ごみ」って何でしょう。今、日本中にごみがあふれています
考えてみませんか？10年前と今のごみ事情。ムダはないでしょうか
今捨てたごみが、地球を、そしてあなた自身を苦しめているのかも



タダだけ タダじゃない!?

四億八千九百万円。これが何の数字かわかりになりますか？二年度に大館市でごみ処理にかけた金額です。十、グラムのごみ(ごみ袋約二個分)を処理するのに百七十六円、一世帯当たりになると年間二万一千九百円かかったことになりました。さて、沼館の広域第一環境センター(ごみ焼却場)には、一日に六十トンのごみを焼却できる炉が二基備えられています。単純に計算すると最大百二十トンを処理できることになりましたが、それは全く休まずに動かした場合のこと。実際には、炉を冷ます時間や炉内の温度を上げるための時間なども必要ですから、通常での能力は一日九十トンをいす。そして、ここに運ばれてくるごみは一日に約七十ト。十分処理できそうに思えます。しかし、ここで大きな問題が起ります。「もやせるごみ」の中に入ってくる「もやせないごみ」がそれ。鉄くずや空き缶などが混じっていたせいで一度炉を止めると、一日稼働率は七〇%ほどにまで低下します。そうなると処理能力はギリギリ。しかも「もやせないごみ」の混入は頻繁にあるのです。

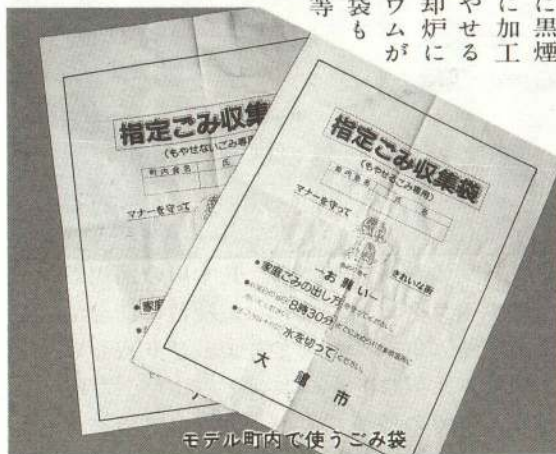
もやせないごみの混入による問題はもう一つ。機械の修繕にかかる費用です。部品交換や修理など、修繕費だけで年間約一億円もお金が必要なのです。一世帯当たり二万一千九百円というのは、各家庭がごみに支払っているのと同じこと。タダのようではたではないのでは？

モデル町内は 実質4分別

市では、六月からいくつかのモデル町内で、試験的に分別収集を徹底してもらうことにしています。

モデル町内には、もやせないごみに用いた透明な袋を、もやせるごみに用いた乳白色(中は見えます)の袋を使ってもらいます。どちらの袋も、燃やしたときに黒煙や有害ガスが出ないように加工されていますし、特にもやせるごみの袋はそのまま焼却炉に入れるため、炭酸カルシウムが混入されています。この袋も普通の状態だとビニール等と同様、燃焼時に急激に温度を上げますが、炭酸カルシウムがそれを押さえ、炉を守る働きをしているのです。

いずれにしても、両方中が見える袋ですから、もやせるごみの袋にピン



モデル町内で使うごみ袋

や缶が入っていれば、収集の際にわかるのはもちろん、家庭でごみを出す際にも一目瞭然です。ビンや缶、その他リサイクルに回せるものはまとめて資源回収に出してもらえば、きつとごみの量は減ると考えています。現在市で分別をお願いしているのは、もやせるごみ、もやせないごみ、粗大・処理困難ごみの三つですが、モデル町内では「資源回収ごみ」という分別が実質的に増えることになるわけです。将来、こうしたごみの分別が市全域で完全にできたとしたら、資源ごみのリサイクルを活性化できるうえ、何より焼却場の経費削減にもつながるでしょう。ごみは出しさえすれば無料で処理されるもの、こんな考え方はもう古いのかもしれませんが。

長 市リポート



No.20

ごみの分別を

今や「ごみ戦争の時代」と呼ばれているぐらい、各都市でごみはたいへん大きな問題になってきています。

基本的に、省資源、リサイクルといったことを考えてみると、もやせるごみ、もやせないごみとして集めたものの中にもリサイクルできるものがありますから、それらはできるだけ分別し、リサイクルへ回すように、また、生ごみについては、コンポストを配ってご協力いただいているように、堆肥化して大地へ返してやるというようなことが必要でしょう。こうしたことがごみの減量化にもつながります。

大館は素晴らしい自然環境に恵まれています。この美しい自然を次の時代へ汚さずに渡すことが私たちの役割です。そのためにもごみの分別収集はぜひとも必要になります。各家庭や企業、市民の皆さんにはいろいろご協力願わなくてはなりません。憶劫なことではありますが、よろしく願っています。

小畑 元